

厨房機器 厨房システム データシート【品質性能概要】 <評価基準>

項 目			単 位 等	評 価 基 準	事 由
2. 一 般 事 項					
	1) 床又は壁にアンカーボルトで固定できるような補強及び固定金具を具備	熱調理器又は高さが1.0mを超える機器		補強及び固定金具等を具備	仕
		特記のある機器		補強及び固定金具等を具備	仕
	2) 都市ガス及び液化石油ガスを使用燃焼機器に対(一財)日本ガス機器検査協会 合格証票の貼付			(一財)日本ガス機器検査協会の合格証票が貼付されたもの	仕
	3) 電気用品安全法における特定電気用品以外の電気用品に該当機器の定格消費電力の算出は(「業務用厨房熱機器等性能測定基準」(一社)日本厨房工業会)による。)	経済産業省への届け出		届け出	仕
		技術基準への適合性確認		適合	仕
		試験記録の保持		保持	仕
		製品への表示		表示	仕
	4) 給水・給湯装置を有するものは、水道法、同法施行令、「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」(平成9年厚生省令第14号)に適合しているか			適合	仕
	5) ボイラーまたは圧力容器を有もので、労働安全衛生法、同施行令または「ボイラー及び圧力容器安全規則」(昭和47年労働省令第33号)の対象機器は、これら法令の定めるところによっているか			適合	仕
	6) 加工工法	甲板及び外側板に使用ステンレス鋼材の見え掛り部の表面仕上げ		No.4研磨(JISR6001-1(研削といし用研磨材の粒度－第一部:粗粒)F150～180)、磨き仕上げ(JIS R 6001-2「研削といし用研削材の粒度－第二部:微粉#240以上)又はそれらの表面仕上げに合成樹脂コーティング	仕
3. 申 請 品 構 造					
共	材 料	はんだ(食器洗浄機は当該項目による)		食品が直接触れる部分に、鉛を含むはんだを使用していない	JFEA
		潤滑油(食器洗浄機は当該項目による)		食品が直接触れる部分に使用潤滑油(品名)は、食品添加物(品名)の認可を受けている	JFEA
	清掃性(食器洗浄機は当該項目による)	露出部または露出可能部		容易に清掃ができる	JFEA
		固定部		全ての固定された隙間は、1mm以下であるか、「JFEA付属書001Aに規定試験用アーム」の先端が届く十分な広さがある(但し、通常の使用時に常時130℃以上に保たれるレンジ、フライヤー、炊飯器、オーブンを除く。また、食品が直接にも間接にも汚染されず、食品が垂れる等してバクテリア増殖の影響がない部分を除く)	JFEA
	ごみが留まりにくい構造			ほこり、ごみ、液体等が進入しにくく、留まらず、付着しにくい構造である	JFEA
	有害小動物の排除			有害小動物の侵入・繁殖ができない構造か、確認可能で駆除・清掃ができる	JFEA

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
通 1	構 造（一般）	混入の 防止	厨房機器部材等の欠 落		欠落せず、欠落しても食品に混入しない構造	JFEA
			潤滑剤等の漏れ		厨房機器内の潤滑剤等や機器性能を維持するために必要な物質は、食品が直接触れる部分には漏れない構造または装置がある (食品に直接混入恐れのある部分に、熱及び経年変化により剥離を起こす素材、コーティング剤等が使用されていない事)	JFEA
		止め具			ねじ、ボルト、リベット類は極力少なく、且つ容易に清掃ができる(但し、熱湯殺菌方式食器洗浄機で通常の使用時に洗浄液およびすすぎ液にさらされる部分を除く)	JFEA
		使用者 の安全	人体に触れる部分		触れてもけがの無いような仕上げか、防護措置	JFEA
			回転機構・駆動機構・ 刃物を有機器		安全装置や安全機構、または代替え機能	JFEA
			安全の担保手段		二重安全の仕組みがある(望ましい)	JFEA
		環境保 護	構造・部材		長寿命・再使用・資源循環に配慮している	JFEA
			分別		材料種別に分解しやすい	JFEA
			材料名の表示		表示	確
共 通 2	構造(食品が直接触れる部分)	食品の 貯蔵部 分と付属 品	有害小動物・塵埃・水 はね・垂れた液体の侵入防止		侵入を防止	JFEA
			全ての部分の視認または確認		視認しやすく容易に手が届くか、取扱説明書の説明で容易に取り外しまたは分解	JFEA
			清掃後の確認		視認や触診等で確認	JFEA
		内側の角および隅の形状			120度以下の場合は、半径が5mm以上の曲面で滑らかである、但し、後付材料により形成した曲面で隙間があるものは認められない。また、コーキング材による形成も認められない。	JFEA
		部品そ の他構 造物による凹凸 形状	全体		全て滑らかである	JFEA
			角および隅		曲面で曲率半径は5mm以上であるか、機能上かつ自動清掃が可能なため5mm未満	JFEA
		接合部 の処置	通常の使用時に常時 130℃以上に保たれる レンジ、こんろ、フライ ヤー、炊飯器、オープン		すべての部分が滑らかである	JFEA
			上記以外		隙間が無く滑らかである	JFEA
		ねじ等の露出防止			ねじ、ボルト、リベットの頭、ナット、スタッドは露出していない	JFEA

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
共通 3	構造(各部)	機器下 方の高さ	脚部がある場合		床上150mm以上空間がある(移動式または移動可能な機器は除く)	JFEA
			台置き式機器の場合		設置面と機器本体の最下部までの高さが100mm以上ある	JFEA
		脚部の 形状	清掃性		凹凸が少なく、容易に清掃ができる	JFEA
			ねじの状態		アジャスターのねじ山が露出しない	JFEA
		キャスタの形状			ごみが溜まりにくく、容易に清掃できる	JFEA
		引き出し	取り外しの可否		可能である	JFEA
			ストッパーの設置		設けている	JFEA
		水切り面	固定式容器、水切り台、水切り棚の底面		十分な勾配を有している	JFEA
			排水性		よい	JFEA
		溝	扉レール、溝、栈などの取り外しの可否		可能	JFEA
			掃き出し口、掃き出し孔の設置		上記が不可の場合には「設ける」	JFEA
			掃出し孔からのゴミ等の清掃		中途に引っかかる部分が無く清掃できる構造	JFEA
			小動物やゴミの侵入経路		ならない構造	JFEA
		折り返し	扉の裏側、側板の周囲等に掃き出し口や掃き出し孔の設置		設けている	JFEA
			掃出し孔からのゴミ等の清掃		中途に引っかかる部分が無く清掃できる構造である	JFEA
			小動物やゴミの侵入経路		ならない構造	JFEA
	構造(各部)	蓋や開 閉機構	つまみ、取手、蝶番、ラッチ等の清掃性		ごみが溜まりにくく、容易に清掃できる	JFEA
			蝶番回転部の管部(抜き差し蝶番を除く)		3ヵ所以内	JFEA
			取手の差込部		下向きか横向き	JFEA
		配管・配線等の開口部の清掃性			点検が容易で、清掃	JFEA
		配管・配線部の開口部			配管・配線部の外形の1.2倍(1.2D)以下	JFEA
		通気口	設置場所		食品が直接触れない部分に設けている	JFEA
			構造・部材		ごみが内部に侵入しにくい	JFEA
	強度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
板 金 製 品 1	流 し	製造者代表形式形番			製造者標準	確
		外形寸法			mm 製造者標準	確
		重量			kg 製造者標準	確
		槽	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 1.2mm以上	仕
			強 度		JFEA付属書002Aに適合している (代表機種は試験結果を提出)	JFEA
		水 切 り	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 1.2mm以上	仕
		補強材	材 質		ステンレス形鋼 (JIS G 4317 (熱間成形ステンレス鋼形鋼)) 厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)) 厚さ1.0mm以上	仕
			板 厚		mm	仕
		脚 部	形 状		ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚 さ		mm 1.0以上	仕
			アジャスター	材 質	標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				調整範囲		確
			すのこ (材質・板厚)		ステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)) 厚さ0.8mm以上、又はステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 厚さ0.8mm以上	仕
			本体			
				材質	ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
				板厚	mm 1.0mm以上	仕
				有無	標準取付品	仕
	流し下部	アジャスター	材質		標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			調整範囲			確

項 目						単 位 等	評 価 基 準	事 由
板 金 製 品 1	流 し		戸棚	戸	材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
					板厚	mm	0.8mm以上	仕
					開閉方式		引き違い戸	仕
					段数		2段	仕
			棚板	材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
				板厚	mm	1.0mm以上	仕	
				取付枚数		作業台と吊り戸棚には1枚以上	仕	
				間隔調整		棚板の間隔を調整できる	仕	
		接 続 管	形 状			フランジ、ユニオン、ねじ接合等	確	
			規 格			JISB2220 (鋼製管フランジ)、JIS B 0202 (管用平行ねじ規格) 等での接続が可能	確	
		付 属 品	流しトラップ (共栓、鎖とも)			標準付属品、トラップは合成樹脂製	仕	
			オーバーフロー			標準付属品	仕	
		強 度			JFEA付属書002Aに適合している (代表機種は試験結果を提出)	JFEA		
板 金 製 品 2	作 業 台	製造者代表形式形番					製造者標準	確
		外形寸法				mm	製造者標準	確
		重量				kg	製造者標準	確
		甲 板	材 質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚		mm	1.2mm以上	仕	
		補強材	材 質			ステンレス形鋼 (JIS G 4317 (熱間成形ステンレス鋼形鋼)) 厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼板 (JIS G 4305) 厚さ1.0mm以上	仕	
			板 厚		mm		仕	
		脚 部	形 状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			厚 さ		mm	1.0mm以上	仕	
			アジャスター	材 質			標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				調整範囲		mm		確

項 目					単 位 等	評 価 基 準	事 由		
板金製品 2	作業台	作業台下部		すのこ(材質・板厚)		mm	ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ0.8mm以上又はステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))厚さ0.8mm以上	仕	
				引き出し(材質・板厚)		mm	特記付属品、厚さ1.0mm以上のステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
		戸棚		本体					
					材質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
				板厚	mm	1.0mm以上	仕		
				アジャスター	有無		標準取付品	仕	
					材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
					調整範囲			確	
				戸	材質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
					板厚	mm	0.8mm以上	仕	
					開閉方式		引き違い戸	仕	
					段数		1段	仕	
				棚板	材質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
					板厚	mm	1.0mm以上	仕	
		取付枚数			作業台と吊り戸棚には1枚以上	仕			
		間隔調整			棚板の間隔を調整できる	仕			
		強 度					JFEA付属書002Aに適合している(代表機種は試験結果を提出)	JFEA	
		板金製 戸	製造者代表形式形番					製造者標準	評
			外形寸法				mm	製造者標準	評
			重量				kg	製造者標準	評
	本 体		材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕		
			板 厚		mm	1.0mm以上	仕		
	アジャスター		有 無			標準取付品	仕		
			材 質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA			
			調整範囲	mm		評			
	戸		材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕		
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕		
			開閉方式			引き違い戸	仕		
			段 数			作業台と吊り戸棚に設置は1段、他は2段	仕		

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由		
品 2	棚	棚 板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕		
			板 厚	mm	1.0mm以上	仕		
			取付枚数		作業台と吊り戸棚には1枚以上	仕		
			間隔調整		棚板の間隔を調整	仕		
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準 (JFEA 001) 及び業務用厨房板金製品基準 (JFER002) に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA	
	強 度	通常使用時の機器および共通部材		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA			
				JFEA付属書002Aに適合している (代表機種は試験結果を提出)	JFEA			
製	棚	製造者代表形式形番				製造者標準	評	
		外形寸法			mm	高さ2200以下	仕	
		重量			kg	製造者標準	評	
		棚一段あたりの最大荷重			kg	250kg以下	仕	
		骨組及び補強材	材 質			ステンレス形鋼 (JIS G 4317 (熱間成形ステンレス鋼形鋼))、ステンレス鋼管製 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))	仕	
			厚 さ		mm	形鋼は3.0mm以上、鋼管は1.0mm以上	仕	
		棚方式 (すのこ、棚板又は金属網棚)	すのこ	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
				板 厚	mm	1.0mm以上	仕	
			棚板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
				板 厚	mm	1.0mm以上	仕	
			金属網棚	材 質		ステンレス鋼棒 (JIS G 4303 (ステンレス鋼棒))	仕	
				直 径	mm	3.0mm以上	仕	
		アジャスター	有 無				標準取付品	仕
			材 質				標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			調整範囲			mm		
		その他「材料及びその使用」及び「構造」					業務用厨房設備機器共通基準 (JFEA 001) 及び業務用厨房板金製品基準 (JFER002) に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強 度	通常使用時の機器および共通部材		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA		
					JFEA付属書002Aに適合している (代表機種は試験結果を提出)	JFEA		

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由	
熱 調 理 器 1	ガ ス レ ン ジ	製造者代表形式形番			製造者標準	評	
		外形寸法		mm	製造者標準	評	
		重量		kg	製造者標準	評	
		燃焼装置	使用ガス種類			製造者標準	評
			ガス消費量		kW	製造者標準	評
		こんろ部	立ち消え安全装置	装備の有無		特記により装備	仕
				機能概要			評
		オープン部	立ち消え安全装置	装備の有無		標準装備	仕
				機能概要			評
			過熱防止装置	装備の有無		特記により装備	仕
				機能概要			評
		上 面 の 形 状				丸五徳型か、全面五徳型	仕
		甲 板	材 質		丸五徳型: 鋳鉄製 (JIS G 5501 (ねずみ鋳鉄品), JIS G 5121 (ステンレス鋼鋳鋼品)) で厚さ10mm以上又はステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)) の厚さ2.0mm以上 全面五徳型: 上面の五徳を除きステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)) の厚さ1.2mm以上	仕	
			板 厚	mm		仕	
		外 側 板	材 質		鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)) 又はステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕	
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕	
		外 後 板	材 質		鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321 (溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)) 又はステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚	mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上	仕	
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕	
		内 側 板	材 質		鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321 (溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)) 又はステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚	mm	1.0mm以上	仕	
			仕 上		鋼板製: ホーロー	仕	
		脚 部	形 状		ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			厚 さ	mm	1.0mm以上	仕	
			アジャスター	材 質	標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
				調整範囲		mm	評

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
熱 調 理 器 1	ガ ス レ ン ジ	附 属 品	五 徳 (材質)		標準附属品(鋳鉄製JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品), JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))	仕
			天 板 (材質、枚数)		標準附属品(鋼板製でオープン1窓につき1枚)	仕
			焼 網 (材質、枚数)		標準附属品(棒鋼製でオープン1窓につき1枚)	仕
			点火棒		必要がある場合	仕
			天板取出し用金具		標準附属品(1個)	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
熱 調 理 器 2	電 気 レ ン ジ	強 度		通常使用時の機器および共通部材	破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形番			製造者標準	評
		外形寸法			mm 製造者標準	評
		重量			kg 製造者標準	評
		電源関係	電 源 (相・電圧)		製造者標準	評
			容 量		kW 製造者標準	評
			電源接続方法		製造者標準	評
		オープン部	過熱防止装置	装備の有無	特記により装備	仕
				機能概要		評
		甲板	材 質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 1.2mm以上	仕
		外 側 板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		外 後 板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		内 側 板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製:ホーロー	仕

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由	
	脚 部	形 状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
		厚 さ		mm	1.0mm以上	仕	
		アジャスター	材 質		標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
	調整範囲		mm	評			
	附 属 品	天 板 (材質、枚数)			標準附属品 (鋼板製でオープン1窓につき1枚)	仕	
		焼 網 (材質、枚数)			標準附属品 (棒鋼製でオープン1窓につき1枚)	仕	
		天板取出し用金具			標準附属品 (1個)	仕	
	その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準 (JFEA 001) 及び業務用厨房熱器機基準 (JFER003) に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA	
	強 度 通常使用時の機器および共通部材				破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA	
熱調理器 3	ガス ス テ ー プ ル レ ン ジ	製造者代表形式形番			製造者標準	評	
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類			製造者標準	評
			ガス消費量		kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置		装備の有無		特記により装備	仕
				機能概要			
		上 面 の 形 状				丸五徳型か、全面五徳型と。	仕
		甲 板	材 質			丸五徳型: 鋳鉄製 (JIS G 5501 (ねずみ鋳鉄品), JIS G 5121 (ステンレス鋼鋳鋼品)) で厚さ10mm以上又はステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)) の厚さ2.0mm以上 全面五徳型: 上面の五徳を除きステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)) の厚さ1.2mm以上	仕
			板 厚		mm		仕
		外 側 板	材 質			鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕
			仕 上			鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		脚 部	形 状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚 さ		mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材 質		標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				調整範囲	mm		

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由	
	補 強 材	材 質			ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼))厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ1.0mm以上で鋼管製の補強材と同等の構造を形成	仕	
		厚 さ		mm		仕	
	特記がある場合の 付属品	すのこ	材 質		ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))	仕	
			板 厚	mm		0.8mm以上	仕
	附 属 品	点火棒			必要がある場合	仕	
	その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA	
	強 度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA	
熱 調 理 器 4	電 気 テ ー ブル レン ジ	製造者代表形式形番				製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		電源関係	電 源 (相・電圧)			製造者標準	評
			容 量		kW	製造者標準	評
			電源接続方法			製造者標準	評
		甲板	材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	1.2mm以上	仕
		外 側 板	材 質			鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯), JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕
			仕 上			鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		脚 部	形 状			ステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚 さ		mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材 質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
		調整範囲		mm	評		
		補 強 材	材 質			ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼))厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ1.0mm以上で鋼管製の補強材と同等の構造を形成	仕
			厚 さ		mm		仕

項 目					単 位 等	評 価 基 準	事 由
		特記がある場合の 附属品	すのこ	材 質		ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))	仕
				板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強 度	通常使用時の機器および共通部材				破断、欠落、大きなゆがみが生じない
熱 調 理 器 5	ガス 揚 物 器 （フ ラ イ ヤ ー）	製造者代表形式形番				製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類			製造者標準	評
			ガス消費量		kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置		装備の有無		標準装備	仕
				機能概要			評
		過熱防止装置		装備の有無		標準装備	仕
				機能概要			評
		空焚き防止装置		装備の有無		特記により装備	仕
				機能概要			評
		油温度調節装置					評
		槽	材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	1.0mm以上	仕
		外 側 板	材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕
	外 後 板	材 質			鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯), JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
		板 厚		mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上	仕	
		仕 上			鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕	
	脚 部	形 状			ステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
		厚 さ		mm	1.0mm以上	仕	
		アジャスター	材 質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
	調整範囲		mm	評			
	化粧板(見え掛かり部)	材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
		板 厚		mm	0.8mm以上	仕	
	附 属 品	油缶、油こし網			標準附属品	仕	
		すくい網			標準附属品	仕	
		油切袖板、油切網			標準附属品	仕	
		ふ た(ステンレス鋼板製)			標準附属品 ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
		仕切網			標準附属品	仕	

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
	その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
	強 度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 6	電 気 揚 物 器 (フ ライ ヤ)	製造者代表形式形番			製造者標準	評
		外形寸法			mm 製造者標準	評
		重量			kg 製造者標準	評
		加熱装置	電 源 (相・電圧)		製造者標準	評
			容 量		kW 製造者標準	評
			電源接続方法		製造者標準	仕
		過熱防止装置		装備の有無	標準装備	仕
				機能概要		評
		空焚き防止装置		装備の有無	特記により装備	仕
				機能概要		評
		油温度調節装置				評
		槽	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 1.0mm以上	仕
		外 側 板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上	仕
		外 後 板	材 質		鋼板製(JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯) , JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) , JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		脚 部	形 状		ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚 さ		mm 1.0mm以上	仕
			アジャスター	材 質	標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
		調整範囲		mm 評		
		化粧板 (見え掛かり部)	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上	仕
		附 属 品	油缶、油こし網		標準附属品	仕
			すくい網		標準附属品	仕
			油切袖板、油切網		標準附属品	仕
			ふ た (ステンレス鋼板製)		標準附属品 ステンレス鋼板製(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			仕切網		標準附属品	仕

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
		その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強 度 通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 7	ガ ス 炊 飯 器 (立 体 炊 飯 器)	製造者代表形式形番			製造者標準	評
		外形寸法			mm 製造者標準	評
		重量			kg 製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類		製造者標準	評
			ガス消費量		製造者標準	評
		立ち消え安全装置		装備の有無	標準装備	仕
				機能概要		評
		自動消火装置		装備の有無	標準装備	仕
				機能概要		評
		庫 内	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		外側板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上	仕
			塗 装		鋼板製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
		外 後 板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		脚 部	形 状		ステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚 さ		mm 1.0mm以上	仕
			アジャスター	材 質	標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				調整範囲		評
		扉部の化粧板	材 質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm 0.8mm以上	仕

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
		附 属 品	炊飯鍋		標準附属品(アルミニウム合金製又はステンレス鋼板製、1窓につき1個)	仕
			炊飯鍋蓋		標準附属品(アルミニウム合金製、1鍋につき1個)	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強 度	通常使用時の機器および共通部材		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 8	電 気 炊 飯 器 (立 体 炊 飯 器)	製造者代表形式番号			製造者標準	評
		外形寸法		mm	製造者標準	評
		重量		kg	製造者標準	評
		電 気 関 係	電 源 (相・電圧)		製造者標準	評
			容 量	kW	製造者標準	評
			電源接続方法		製造者標準	評
		庫 内	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		外側板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
			塗 装		鋼板製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
		外 後 板	材 質		鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼板製は耐熱塗装仕上げ	仕
		脚 部	形 状		ステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚 さ	mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材 質	標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				調整範囲		評

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
		扉部の化粧板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		附 属 品	炊飯鍋		標準附属品 (アルミニウム合金製又はステンレス鋼板製、1窓につき1個)	仕
			炊飯鍋蓋		標準附属品 (アルミニウム合金製、1鍋につき1個)	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準 (JFEA 001) 及び業務用厨房熱器機基準 (JFER003) に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強 度	通常使用時の機器および共通部材		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 9	ガ ス 焼 物 器	製造者代表形式形番			製造者標準	評
		外形寸法		mm	製造者標準	評
		重量		kg	製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類		製造者標準	評
			ガス消費量	kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置	装備の有無		標準装備 (手動点火式で常時炎が確認できる物を除く)	仕
			機能概要			評
		過熱防止装置	装備の有無		特記により装備 (オープン型に限る。)	仕
			機能概要			評
		外 側 板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		外 後 板	材 質		溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321 (溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)) 又はステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上、ステンレス鋼板製は0.8mm以上	仕
		内 側 板	材 質		鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製 (JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321 (溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)) 又はステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上、ステンレス鋼板0.8mm以上	仕
			仕 上		鋼板製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
		扉部の化粧板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		棚網 (材質、枚数)	オープン形、スチーム今べくションオープンを含む、但しホテルパン等を直接装備ものは除く		1枚以上、仕様は製造者標準	仕

項 目			単 位 等	評 価 基 準	事 由
		自動温度調節装置		オープン形には設ける	仕
		立ち上がり性能	オープン形	分 庫内が室温から設定可能な最高温度に達時間は30分以内	仕
			開放形	分 発熱体温度が室温から調理可能な温度に達時間は10分以内	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強 度 通常使用時の機器および共通部材		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 1 0	電 気 焼 物 器	製造者代表形式形番		製造者標準	評
		外形寸法		mm 製造者標準	評
		重量		kg 製造者標準	評
		電源関係	電 源 (相・電圧)	製造者標準	評
			容 量	製造者標準	評
			電源接続方法	製造者標準	評
		過熱防止装置		特記により装備(オープン型に限る。)	仕
				機能概要	評
		外 側 板	材 質	ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm 0.8mm以上	仕
		外 後 板	材 質	溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm 溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上、ステンレス鋼板製は0.8mm以上	仕
		内 側 板	材 質	鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm 鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上、ステンレス鋼板0.8mm以上	仕
			仕 上	鋼板製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
		扉部の化粧板	材 質	ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm 0.8mm以上	仕
		棚網 (材質、枚数)	オープン形、スチーム今べくションオープンを含む、但しホテルパン等を直接装備ものは除く	1枚以上、仕様は製造者標準	仕

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
		自動温度調節装置			オープン形には設ける	仕
		立ち上がり性能	オープン形	分	庫内が室温から設定可能な最高温度に達時間は30分以内	仕
			開放形	分	発熱体温度が室温から調理可能な温度に達時間は10分以内	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強 度 通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 1 1	ガス 煮 炊 器	製造者代表形式形番			製造者標準	評
		外形寸法		mm	製造者標準	評
		重量		kg	製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類		製造者標準	評
			ガス消費量	kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置	装備の有無		標準装備(手動点火式で常時炎が確認できる物を除く)	仕
			機能概要			評
		過熱防止装置	装備の有無		特記により装備	仕
			機能概要			評
		過圧防止装置	装備の有無		標準装備(加圧式に限る)	仕
			機能概要			評
熱 調 理 器 1 1	ガス 煮 炊 釜	釜	材 質		铸铁製(JIS G 5501(ねずみ铸铁品))、ステンレス铸鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼铸鋼品))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はJIS H 4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)、JIS H 5202(アルミニウム合金铸物)製	仕
			板 厚	mm	3.0mm以上、ステンレス鋼板2.0mm以上、アルミニウム合金4.0mm以上	仕
			仕 上		铸铁製は防錆処理	仕
		釜支持構造物	材 質		一般構造用形鋼製(JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材))又は铸铁製(JIS G 5501(ねずみ铸铁品))、ステンレス形鋼製(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼))又はステンレス铸鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼铸鋼品))、ステンレス鋼管製(JIS G 3459(配管用ステンレス鋼鋼管))	仕
			板 厚	mm	形鋼製・铸铁製は3.0mm以上、ステンレス鋼管製は1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼材又は铸铁製は防錆処理	仕
		その他の構造物	材 質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		立ち上がり性能		分	釜を水道水とほぼ同じ温度の水で定格容量(表示のない場合は、最大容量時の深さ70%の深さの量)に満たした状態から、沸騰状態に達時間は60分以内	仕

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
	その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
	強 度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
熱 調 理 器 1 2	製造者代表形式形番				製造者標準	評
	外形寸法			mm	製造者標準	評
	重量			kg	製造者標準	評
	電源関係	電 源 (相・電圧)			製造者標準	評
		容 量		kW	製造者標準	評
		電源接続方法			製造者標準	評
	過熱防止装置		装備の有無		特記により装備	仕
			機能概要			評
	過圧防止装置		装備の有無		標準装備(加圧式に限る)	仕
			機能概要			評
	釜	材 質			铸铁製(JIS G 5501(ねずみ铸铁品))、ステンレス铸鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼铸鋼品))又はステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はJIS H 4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)、JIS H 5202(アルミニウム合金铸物)製	仕
			板 厚	mm	3.0mm以上、ステンレス鋼板2.0mm以上、アルミニウム合金4.0mm以上	仕
			仕 上		铸铁製は防錆処理	仕
	釜支持構造物	材 質			一般構造用形鋼製(JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材))又は铸铁製(JIS G 5501(ねずみ铸铁品))、ステンレス形鋼製(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼))又はステンレス铸鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼铸鋼品))、ステンレス鋼管製(JIS G 3459(配管用ステンレス鋼鋼管))	仕
			板 厚	mm	形鋼製・铸铁製は3.0mm以上、ステンレス鋼管製は1.0mm以上	仕
			仕 上		鋼材又は铸铁製は防錆処理	仕
	その他の構造物	材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
	立ち上がり性能			分	釜を水道水とほぼ同じ温度の水で定格容量(表示のない場合は、最大容量時の深さ70%の深さの量)に満たした状態から、沸騰状態に達時間は60分以内	仕
	その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
	強 度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
	製造者代表形式形番				製造者標準	評
	外形寸法			mm	製造者標準	評
	重量			kg	製造者標準	評

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由
食 器 洗 浄 機 1	殺菌方式	殺菌方式			熱湯殺菌方式である	評
		構造分類			コンベア式又はバッチ式	評
		加熱方式			製造者標準(ガス、電気)	評
	加熱方式	熱源の種類			製造者標準(ガス、電気)	評
		容 量		kW	製造者標準	評
		予備洗浄領域最低温度		℃	製造者標準	評
	温度条件	洗浄領域最低温度		℃	最低温度60℃	JFEA
		循環すすぎ領域最低温度		℃	最低温度65℃	JFEA
		仕上げすすぎ領域最低、最高温度		℃	最低温度80℃、最高温度90℃	JFEA
	立ち消え安全装置		装備の有無		電気加熱を除き標準装備	仕
			機能概要			評
	過熱防止装置		装備の有無		標準装備	仕
			機能概要			評
	洗浄タンク				設ける	JFEA
	仕上げすすぎタンク				設ける	JFEA
	仕上げすすぎ液温度測定箇所				仕上げすすぎノズルに流れ込む液の温度を、ノズルから1.5m以内で測定して表示している	JFEA
	温度表示装置の測定範囲の表示				製造元指定の最低水温または適温範囲を表示している(又は他の方法で示している)	JFEA
	加熱システム(仕上げすすぎ用熱交換器の能力)				連続運転時に、仕上げすすぎ温度を80～90℃に保つ容量がある	JFEA
	汚れ除去の効果の確認試験方法				JFEA007-2007付属書007Aに適合している	JFEA
	殺菌の効果の確認試験方法				JFEA007-2007付属書007Aに適合している	JFEA
	材 料 1	はんだ			洗浄液およびすすぎ液にさらされる部分に、鉛を含むはんだを使用していない	JFEA
		潤滑油			洗浄液およびすすぎ液にさらされる部分に使用潤滑油(品名)は、食品添加物(品名)の認可を受けている	JFEA
		槽	材 質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	1.0mm以上	仕
	材 料 2	外装、扉、網板	材 質		ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		補強材	材 質		ステンレス形鋼(JIS G 4317)、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又はステンレス鋼板(JIS G 4305)によるステンレス鋼管製の補強材と同等の構造に形成	仕
			板 厚	mm	1.0mm以上、形鋼は3.0mm以上	仕
	脚 部	形 状	厚 さ		ステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
				mm	1.0mm以上	仕
		アジャスター	材 質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			調整範囲	mm		評

項 目					単 位 等	評 価 基 準	事 由		
食 器 洗 浄 機 1	構造	清掃性	露出部または露出可能部			容易に清掃ができる(但し、通常の使用時に洗浄液およびすすぎ液に浸される部分を除く)	JFEA		
			固定部			全ての固定された隙間は、1mm以下であるか、「JFEA付属書001Aに規定試験用アーム」の先端が届く十分な広さがある(但し、通常の使用時に洗浄液およびすすぎ液に浸される部分を除く)	JFEA		
		除湿装置	除湿装置の取付の有無			製造者標準	JFEA		
			凝縮水の流れ出し(有の場合)			ラックの上またはコンベア領域への流れ出さない	JFEA		
	構造	洗浄部	ノズル	着 脱			容易に取外し、清掃が可能である	JFEA	
				噴き付けと正しい組み立て			全ての食器に液を噴き付けられて、正しく組み立て直すことができる	JFEA	
				仕上げすすぎ液の水質			飲料に適している	JFEA	
			ラック	有 無			製造者標準	JFEA	
				材 質(有の場合)			JFEA基準による材料である	JFEA	
			タンク部	接合部			隙間がなくバリがないこと	JFEA	
		材 質			前出の材料(槽)と同材料である	JFEA			
		1	取り外し部品	着脱			容易に取外し、正しく取り付けをおこない、清掃が可能である	JFEA	
				カーテン、類似用具			容易に取外し、目印により正しく取り付けをおこない、清掃が可能である	JFEA	
				循環水	使用の有無			製造者標準	JFEA
			ごみ受け籠等(循環水の場合)		設置位置			取り外しが容易で、手の届く位置に設けてある	JFEA
					通過孔の大きさ			噴射ノズル等の孔径より小さい(噴射ノズルの手前に、ストレーナ等を設ける場合を除く)	JFEA
			2	コンベア装置(コンベア式の場合)	洗浄とすすぎ液の噴き付け障害防止対策			障害部分を最小限に構造である	JFEA
		コンベアテーブルの内角			mm	半径3mm以上の曲面である	JFEA		
		洗浄液とすすぎ水の相互汚染防止対策				カーテン等の遮へい物や十分な距離を取る等により相互汚染の危険を最小限に抑えること	JFEA		
		循環ポンプ		方 式			製造者標準(専用ポンプによる循環式、直結式)	評	
				電 源(相・電圧)			製造者標準	評	
				容 量		kW	製造者標準	評	
	電動機の保護				液がたれても大丈夫な構造またはシールされているケースに収納している	JFEA			
	排水方式				自己排水若しくは8mm以上の排水弁を設けている	JFEA			
	排水弁の位置(弁有りの場合)				容易に手の届く位置である	JFEA			
給水部									

項 目					単 位 等	評 価 基 準	事 由		
				給水管の配置 (本体に給水ための一次側部分)		タンクや洗浄室内は通過していない	JFEA		
				水圧表示	すすぎ液供給管		圧力計(または類似した計器)を装備している	JFEA	
					類似した計器の場合		製造者標準	評	
					検圧口の装備		仕上げすすぎ専用ポンプまたは循環水送水管には設ける	JFEA	
			水および蒸気弁の浸水防止対策					洗浄機作動中に水に浸らない位置に取り付けている	JFEA
	その他「材料及びその使用」及び「構造」					業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房洗浄機基準(JFER007)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA		
	強 度	通常使用時の機器および共通部材				破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA		
	食 器 洗 浄 器 2	食 器 洗 浄 機 (熱湯殺菌方式以外)	材 料	製造者代表形式形番			製造者標準	評	
外形寸法				mm	製造者標準	評			
重量				kg	製造者標準	評			
殺菌方式				殺菌方式		熱湯殺菌方式である	評		
				構造分類		コンベア式又はバッチ式	評		
加熱方式				熱源の種類		製造者標準(ガス、電気)	評		
				容 量	kW	製造者標準	評		
立ち消え安全装置				装備の有無		電気加熱を除き標準装備	仕		
				機能概要			評		
不完全燃焼防止装置				装備の有無		電気加熱を除き特記により装備	仕		
				機能概要			評		
過熱防止装置				装備の有無		標準装備	仕		
				機能概要			評		
槽				材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
					板 厚	mm	1.0mm以上	仕	
外装、扉、網板				材 質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
					板 厚	mm	0.8mm以上	仕	
補強材				材 質			ステンレス形鋼(JIS G 4317)、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又はステンレス鋼板(JIS G 4305)によるステンレス鋼管製の補強材と同等の構造に形成	仕	
					板 厚	mm	1.0mm以上、形鋼は3.0mm以上	仕	
脚 部				形 状			ステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
					厚 さ	mm	1.0mm以上	仕	
				アジャスター	材 質			標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
					調整範囲	mm			評
その他「材料及びその使用」及び「構造」					業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房洗浄機基準(JFER007)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA			
強 度		通常使用時の機器および共通部材				破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA		

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由		
低温 機器 1	冷蔵 庫	製造者代表形式形番			製造者標準	評		
		外形寸法		mm	製造者標準	評		
		重量		kg	製造者標準	評		
		庫内有効内容積		L	製造者標準	評		
		電源関係	電 源 (相・電圧)			製造者標準	評	
			容 量		kW	製造者標準	評	
			電源接続方法			製造者標準	評	
		外側板および内側板	材 質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚		mm	0.4mm以上	仕	
		上部および外後板	材 質			鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯))、溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯))、溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321 (溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))またはステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
	板 厚		mm	0.4mm以上	仕			
	仕上げ			鋼板製は塗装仕上げと (ステンレスとめっき鋼板を除く)	仕			
	脚 部	形 状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕		
		厚 さ		mm	1.0mm以上	仕		
		アジャスター	材 質			標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
	調整範囲		mm	評				
	低温 機器 1	冷蔵 庫	断熱材の構造			全ての面に注入発泡	仕	
			冷却性能	JIS B 8630 (業務用の電気冷蔵庫及び電気冷凍庫—特性および試験方法) による		時	冷氣自然対流方式: 周囲温度30℃無負荷時に庫内温度が10℃以下に下がるのに要する時間が180分。 周囲温度が35℃無負荷時に 冷氣強制循環方式 (冷蔵庫Ⅰ形及び冷凍冷蔵庫Ⅰ形: 庫内温度が10℃以下に下がるのに要する時間が120分 冷氣強制循環方式 (冷蔵庫Ⅱ型及び冷凍冷蔵庫Ⅱ型: 庫内温度が5℃以下に下がるのに要する時間が90分	仕
			附 属 品	外部から視認できる温度計又は温度表示装置			設ける	仕
			その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準 (JFEA 001) 及び業務用冷蔵庫・冷凍庫基準 (JFER004) に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA	
			強 度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形番			製造者標準	評		
		外形寸法		mm	製造者標準	評		
		重量		kg	製造者標準	評		
		庫内有効内容積		L	製造者標準	評		

項 目				単 位 等	評 価 基 準	事 由		
低 温 機 器 2	冷 凍 庫	電源関係	電 源 (相・電圧)		製造者標準	評		
			容 量		kW	製造者標準	評	
			電源接続方法			製造者標準	評	
		外側板および内側板	材 質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚		mm	0.4mm以上	仕	
		上部および外後板	材 質			鋼板製 (JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯))、溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯))、溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314 (溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯)), JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321 (溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))またはステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			板 厚		mm	0.4mm以上	仕	
			仕上げ			鋼板製は塗装仕上げと (ステンレスとめっき鋼板を除く)	仕	
		脚 部	形 状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼板製 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕	
			厚 さ		mm	1.0mm以上	仕	
			アジャスター	材 質		標準取付 (アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
		調整範囲		mm	評			
		断熱材の構造					全ての面に注入発泡	仕
		冷却性能		JIS B 8630 (業務用の電気冷蔵庫及び電気冷凍庫—特性および試験方法) による		時	冷氣自然対流方式: 周囲温度30℃無負荷時に庫内温度が-5℃以下に下がるのに要する時間が180分。 周囲温度が35℃無負荷時に庫内温度が-15℃以下に下がるのに要する時間が90分	仕
		附 属 品		外部から視認できる温度計又は温度表示装置			設ける	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」					業務用厨房設備機器共通基準 (JFEA 001) 及び業務用冷蔵庫・冷凍庫基準 (JFER004) に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
	強 度		通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA	
4. 資 料 の 提 出								
1) 主要使用材料のミルシート (材料証明書)								
甲板					提出	評		
外側板					提出	評		
外後板					提出	評		
内側板					提出	評		
外装 (食器洗浄機)					提出	評		
扉					提出	評		
槽					提出	評		
脚部					提出	評		
炊飯鍋					提出	評		
釜					提出	評		
釜支持構造物					提出	評		
2) 製作図 (構造図)						必要な図面があり、その内容が規定、仕様等を満足していること	評	
外形図または製作図 (構造図)					使用材料を明記	評		
付属品の単体図と取付け図					取付け位置を記入	評		
安全装置の単体図と取付け図					取付け位置を記入	評		

項 目		単 位 等	評 価 基 準	事 由
	3) 銘板のコピー		提出	評
	4) 認証証票のコピー		提出	仕
	5) 試験成績表		提出	評
	6) カタログ		提出	評
5. 提 出 書 類				
	1) カタログ		提出	評
	2) 承諾図		提出	評
	3) 完成図		提出	評
	4) 取扱い説明書		提出	評
	5) 耐震計算書		提出	評設
備考				

評価基準の事由

仕 ： 標準仕様書又は改
 設 ： 設計基準の掲載事項による
 評 ： 評価事業による確認事項
 JFEA ： (一社)日本厨房工業会の規定による